

履歴書

2012 年 5 月 29 日現在



ふりがな		まつもと		かおり	
氏 名					
松本 かおり					
出身地		年齢		※	
愛知県		(満 23 歳)		男 ・ 女	
参加した NICE ボランティア		分野			
名張、震災特別 WC 会津		環境保全・教育			
場所	三重県名張市、福島県会津若松市				
(国・市町村まで記入)					
受け入れ団体	NPO 法人赤目の里山を育てる会、NPO 法人方丈舎				
満足度					
120%					
活動のやりがい度					
120%					

こんなボランティアでした

まず名張では里山保全のための作業と地元小学校での国際交流授業を行いました。NICE の中でもここは「ハード」な内容で有名です。里山に入って柴刈りや薪割り・木質ペレットづくり、そして受け入れ団体理事長「赤目のオヤジ」から出された夜鍋ワークを皆でやるという怒涛の 2 週間でした。会津では、仮設住宅や避難所で過ごす子どもたちとひとすべり遊びました。夏休みだったので宿題を教えたり、また大雨による水害も開催地の近くで起こったので復旧作業を手伝いました。

年齢	経歴
18 歳	南山短期大学 英語科 入学
18 歳	NICE 国際ワークキャンプ名張（夏）参加 その後名張での活動にしばしば参加する
19 歳	動くのが大事と気付いて 若い人の選挙投票率をあげようと啓発する団体に参加し始める
20 歳	名張に行ったことによって環境保全とまちづくりに興味をもったので 南山大学 総合政策学部 総合政策学科 3 年次編入学
20 歳	NICE 国際ワークキャンプ名張（夏）リーダー 名張しが知らない自分をもったいないと気付く 各地の週末ワークキャンプに参加してみる
21 歳	東日本大震災が起きる 名張の人たちと一緒に東北へ行き、物資の配布や炊き出しを行う
21 歳	様々な縁が繋がり NICE 特別ワークキャンプ会津にて 1 か月コーディネーターを担当
22 歳	震災により考え方が変わり 大学に未練があったのでもう一年在学することに ただ今、絶賛就職活動中☆
趣味・特技	いつでもどこでも寝れること！食べるの大好き！意外と食べます！
座右の銘	迷ったら GO！
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
海外にはまだ韓国しか行ったことがないほどに国内派です。ワークキャンプに参加するまで接したこと がある外国人は ALT と大学の先生とかぐらいでした。ボランティアも参加前までは奉仕の心が溢れる人 がやるものだと思っていたので、私にはできないと思っていました。	

志望動機 短大は2年と短いので夏休みに何か挑戦したいと意気込んでいたとき、友人にNICEを誘われました。海外旅行への気持ちもありましたがお金がなく、「ボランティア」への嫌悪感もやってみたら違うのかもしれないという理由から国内でのワークキャンプの参加を決めました。現在では私に大きな影響を与えてくれた名張ですが、当初は恥ずかしながら環境保全に興味はなく、友人と共に参加できる日程だったという理由で選びました。

会津に参加した理由は、とにかくウズウズしてたというのが一番の理由です。震災後東北地方を名張の皆さんと回った時にワークキャンプの受け入れ先となった方丈舎さんの活動を手伝わさせていただきました。その時に出会ったごとの「また来てね」の一言が忘れられず現地に行きたいと思ってた矢先、コーディネーターの話をたまにいただきました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）

初めてのボランティア、初めての場所、初対面の人との2週間の共同生活にしかも外国の人がいるということ、そして案内にはハードワークの文字、、、不安だらけでした。とにかく郷に従え精神と一生懸命楽しくやろうをモットーに取り組みました。名張は本当に体力的にも精神的にもハードでしたが、キャンパーに恵まれていたので手を借りながら乗り越えました。

会津ではコーディネーターという肩書もあり、その重さや今どんな状況なのかが掴めなかったので不安でした。そして現場はいろいろと入り乱れて戸惑うことばかりでしたが、こころもいろんな方に協力してもらいながら活動を進めました。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）私は行くと決めたら聞く耳もたずな性格なので、名張や会津に行くときはいつも直前に「行ってくるから」と案内状と自分が知ってる限りの情報（例えば会津のときは現地の放射線量について）を親に与え、有無を言わせないようにしました（苦笑）そして名張に関わるようになってから短大時代の友人から「里山！」と呼ばれるようになりました。あまりに私がその話をするからイメージがついたようです（笑）

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）

ボランティアを堅苦しく考えていた私はいつの間にかボランティアをする人になりました。私にとってボランティアは、自分が知らない世界を広げてくれるものであり、自分がやったことが誰かに喜んでもらえる、自己満足で終わらないものだからこそ楽しいんだとワークキャンプによって知りました。まさか自分がチェーンソー使ったり、草刈り機を駆使できるようになってワークキャンプに参加するまで思いませんでした。それに目立つのが苦手な私がリーダーなどをやらせていただき責任をもつ大変さと楽しさ、何より自分のちっぽけさ（だからこそ人の手を借りる必要性）を学べました。また、名張や会津の活動を通して、国を問わず、年齢を問わず、いろんな人に出会えました。その出会いのおかげで、短大から大学へ編入しようと思いましたが、様々な生き方を知ることができたことで現在私はもう一年大学に通って将来を見つめています。

成長ダイアグラム ※

これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪

はじめの一步をNICEで踏み出すと一歩が一歩以上の世界に広げてくれる、そんな可能性をワークキャンプにはあるんじゃないかと思います。

コーディネーターをやらせていただき感じたのは、参加動機より実際の現場でどう自分をさらして自分の力を発揮できるかが楽しくやるポイントなのかなと思いました。とにかく一歩を踏み出すとNICEな面白い人たちが迎えてくれますよ！！